

ラストデイズ・オブ・ザ・ワールド (2009)

THE DAY OF THE TRIFFIDS

メディア TVM

ジャンル SF パニック ホラー

製作国 イギリス/カナダ

時間 186分

【解説】

イギリスのSF作家ジョン・ウィンダムによる『トリフィド時代—食人植物の恐怖』を原作とする近未来パニック作品。監督は「パンデミック 20XX年人類消滅」のニック・コパス、出演はダグレイ・スコット、ジョエリー・リチャードソン、ブライアン・コックスら。人類が開発した新エネルギーによってもたらされる危機を描く。

世紀の天体ショーの“太陽風現象”と謳われた彗星を見ようとした人々は、その奇怪な光により視力を失ってしまう事態に。かねてより石油に変わるエネルギーとして遺伝子操作で開発された食肉植物“トリフィド”に襲われ負傷したビルは失明を免れ、同じく難を逃れたリポーターのジョーと出会う。この“トリフィド”は制御が不能となり、餌をもとめて人間を手につけ始める。果たして、人類に残された希望とは…？

【クレジット】

監督	ニック・コパス	Nick Copus
製作総指揮	エレノア・モーラン	Eleanor Moran
	マイケル・プレガー	Michael Preger
	ジェイ・ファイアストーン	Jay Firestone
	エヴァ・ラドヴァンスカ	Ewa Radwanska
	ジャスティン・ボドル	Justin Bodle
原作	ジョン・ウィンダム	John Wyndham
脚本	パトリック・ハービンソン	Patrick Harbinson
撮影	ベン・スミサード	Ben Smithard
出演	ダグレイ・スコット	Dougray Scott
	ジョエリー・リチャードソン	Joely Richardson
	ブライアン・コックス	Brian Cox
	ヴァネッサ・レッドグレイヴ	Vanessa Redgrave
	エディ・イズード	Eddie Izzard
	ジェイソン・プリーストリー	Jason Priestley
	ノラ=ジェーン・ヌーン	Nora-Jane Noone
	シェーン・テイラー	Shane Taylor
	スティーヴン・エルダー	Steven Elder